

拳ノ川分団屯所早期着工を 建設場所を決定し着手を目指す



やまもと まきお
山本 牧夫 議員

問

黒潮町消防団拳ノ川分団の屯所は、昭和53年に建築され、現在48年目を迎えて老朽化も進み、壁等にアスベストも使われていて問題もある。

令和6年3月に一般質問をし、この時の回答は「令和6年度に建築場所を確定し、財政等の調整を図りながら令和7年度以降の着手を目指す」という事であったが、現在でも建築場所は確定していない。町が率先して、拳ノ川地域の区長、消防団と会合を持ち、建築場所を確定すべきではないか。

答

宮川 情報防災課長

拳ノ川分団屯所の建替場所については、分団及び区長と協議の結果、消防屯所を単独で建設する予定。当初の候補地は、橋の老朽化等により団の初期活動に遅延が生じる懸念があり、改めて新たな候補地を選定する必要が生じている。現在複数の候補地が挙がっており

拳ノ川分団屯所候補地(こぶしの里北側)



拳ノ川分団屯所

消防団や地域の人と協議して調整し、できる限り早期の着工を目指す。

佐賀地域屯所

老朽4分団屯所
建替計画

地域の実情に合わせ
て進める

問

来る南海地震に備え、防災の拠点となる消防団屯所だが、大方地域に比べ、佐賀地域は1箇所も建替がされていない。今後どのように計画していくのかを問う。

佐賀分団屯所



答

宮川 情報防災課長

消防屯所は、災害発生時の防災活動拠点となる重要施設である。浸水区域内の屯所は、計画的に浸水区域外への移転、建て替えを、建設場所が決つた屯所から順次進めている。4分団とも候補地の協議を進めているが、拳ノ川は答弁の通り。鈴は適地が見つからず、現在屯所の機能を補完する車庫を、別途建設する方向で団と協議を進めている。伊与喜屯所は築50年を経過しているが、他の消防屯所が移転した段階で検討する。佐賀分団屯所については、現在高規格道路事業の工事事務所付近が候補地として検討されており、この事業の進捗に併せて移転が出来るよう消防団等との協議を進め、合築ありきでなく適切な方法で早期の建築着手に努める。